

平成 21 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2007～2010

課題番号：18520220

研究課題名 (和文) グリム童話における「文化的変位」に関する研究

研究課題名 (英文) Research on cultural versatility in the fairy-tales of the Brothers Grimm

研究代表者

梅内 幸信 (UMENAI YUKINOBU)

鹿児島大学・法文学部・教授

研究者番号：00145450

研究分野：ヨーロッパ文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ語系文学

キーワード：グリム童話、日本古典落語、ファンタジー文学、文化的変位、死神、歌う骨、日本昔話、ペロー

## 1. 研究計画の概要

「グリム童話」は、世界各国の言葉に翻訳され、現在では聖書に次いで広く普及している。「その魅力の源を突き止め、グリム童話の普遍的核心を抽出すると同時に、愛読者界での誤解を正すこと」を本研究の目的とする。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 研究初年度である平成 18 年度において、グリム童話ならびに世界の民話における「死神」のモチーフを渉猟し、古典落語『死神』とを比較・分析した。

(2) 平成 19 年度において、すでに提出してある 7 つの文化的変位が普遍的妥当性をもつかを、ペローの童話とグリム童話とを比較・分析した。(例えば、『眠りの森の王女』と『いばら姫』(KHM50)、『サンドリヨン』と『灰かぶり』(KHM21) である。)

(3) 平成 20 年度において、バジールレの童話とグリム童話とを比較・分析した。ここにおけるカニバリズムの問題を通じて、ドイツの文化的変位とフランスの文化的変位を比較・検討した。

## 3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

〔理由〕当初の計画通りの実績を上げ、加

えてグリム童話に関する「アメリカの文化的変位」に関して予想以上の研究成果を上げることができた。

## 4. 今後の研究の推進方策

(1) 最終結論提示の準備ができています。「1 つの童話が異国に伝播される時、その童話の文化的環境は、1. 宗教的要素、2. 人物関係、3. 解決手段、4. 解決方法、5. 登場人物の職業、6. 謝礼・報酬、7. 処罰の方法、8. 果実、9. 社会制度、10. 文化の成熟度、11. 性の開放度、の点において異国の伝統文化・習慣へと置き換えられる。」

(2) グリム童話に関する「普遍妥当の変位」が確定されることによって、気候的・地理的・歴史的・文化的条件を超えて、子どもと家庭の教育に大きな影響を与える「グリム童話の普遍的核心」が明確になりつつある。

(3) 平成 21 年度は最終年度になるので、報告書をまとめる予定である。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

(1) [雑誌論文] (計 14 件)

①梅内幸信 M. エンデの『モモ』に見られるファンタジーの役割、査読有、『ヘルダ

一研究』、12号、2006年、105-121ページ。

- ②梅内幸信 <「いばら姫」百年の眠り——心理学的解釈の観点から——>、査読無、日本独文学会研究叢書、50号、2007年、39-46ページ。
- ③梅内幸信 『手なし娘』(KHM31)に見られる文化的変位、査読有、『西日本ドイツ文学』、19号、2007年、1-15ページ。
- ④梅内幸信 グリム童話に見られる復讐の美学、査読無、鹿児島大学法文学部紀要『人文学科論集』、67号、2008年、87-113ページ。
- ⑤梅内幸信 「グリム童話におけるアメリカの文化的変位——白雪姫になれなかったマリリン——」、査読無、『VERBA』、33号、2009年、29-98ページ。

(2) [学会発表] (計 4 件)

- ①梅内幸信 「現代文化におけるファンタジー文学について」、「アジア・ゲルマニスト会議ソウル2006」、ソウル大学、2006年8月29日。
- ②梅内幸信 「進歩を進化に連動させるファンタジーの智慧—ホフマンとグリム兄弟、そしてエンデー」、「日本ヘルダー学会」シンポジウム「進歩・進化の思想—十八世紀から現代へ—」、立教大学、2007年5月27日。
- ③梅内幸信 Über den Kannibalismus im Märchen „Dornröschen“ (『イバラ姫』に見られるカニバリズムについて)、国際会議「アジア・ゲルマニスト会議2008金澤」、星陵大学、2008年8月27日。
- ④梅内幸信 『はてしない物語』におけるファンタジーの機能、「日本独文学会秋季研究発表会」シンポジウム「エンデ文学におけるファンタジー」、岡山大学、2008年10月12日。